

**屋外向けの映像制作用 4K リモートカメラ “CR-X300” を発売
多様な通信連携と高い耐環境性能により幅広い撮影シーンに対応**

キヤノンは、IP^{*1} によるリモートプロダクションを実現する、映像制作用リモートカメラシステムの新製品として、屋外向けの 4K リモートカメラ “CR-X300” を 2022 年 2 月中旬に発売します。



CR-X300
(右は天吊り設置時)

“CR-X300” は、多様な通信規格への対応と高い耐環境性能により、スポーツ中継や野生動物、テーマパーク、イベント会場など屋外におけるさまざまな撮影に適した PTZ (パン、チルト、ズーム対応) リモートカメラです。近年、映像コンテンツの需要拡大により、映像制作現場では大量のコンテンツの制作、配信が求められています。キヤノンは、屋外・屋内それぞれのリモートカメラシステムのラインアップを拡充することで、映像制作ワークフローの効率化・省人化に貢献していきます。

■ 業務用ビデオカメラ同様のキーデバイス搭載による高画質な映像撮影

1/2.3 型 CMOS センサー、映像処理プラットフォーム「DIGIC DV6」など、業務用ビデオカメラで培った映像処理技術などを生かしたキーデバイスを搭載し、4K/30P/4:2:2/10bit の高画質な映像撮影が可能です。また、焦点距離約 29.3mm-601mm^{*2} 相当の光学 20 倍ズームレンズを搭載し、広角から超望遠まで、幅広いシーンでの撮影が可能です。

■ 柔軟なシステム構築を実現する多様な通信規格への対応

キヤノンの映像制作機器を IP 制御する「XC プロトコル」に対応しています。CINEMA EOS SYSTEM^{*3} のカメラや屋内向けリモートカメラ「CR-N500 (2021 年 5 月発売) / CR-N300 (2021 年 6 月発売)」など複数のカメラとともに専用コントローラーや PC ソフトウェアで制御することができます。さらに、ストリーミング配信が可能な「RTMP^{*4}」や、ライブ映像制作を支援する「NDI|HX^{*5}」にも対応し、制作環境に合わせて柔軟にシステムを構築することができます。

■ 屋外撮影に対応する耐環境性能と設置負荷を軽減する本体仕様

国際電気標準会議が定める水や異物侵入の保護等級「IP65」準拠の防じん・防滴性能を達成しています。また、ワイパーの標準装備や腐食に強いアルミダイキャストの採用など、強風や風雨にさらされる屋外の設置環境に対応します。また、「PoE++^{*6}」に対応し、LAN ケーブル 1 本で電源供給とカメラ制御を行うことができるため、設置時の省線化やコスト低減に貢献します。

製品名	希望小売価格	発売日
CR-X300	オープン価格	2022 年 2 月中旬

※1 Internet Protocol。インターネット上で情報のやり取りをする際の通信方式。
 ※2 35mm 判換算。4K UHD 設定かつ IS OFF またはスタンダード IS ON 時。
 ※3 対象機種は「EOS C300 Mark III / EOS C500 Mark II」で、順次拡大予定。2021 年 8 月公開のファームウェアの更新が必要。
 ※4 Real-Time Messaging Protocol。米国 Adobe 社が開発した、動画や音声のストリーミング配信・再生を行う通信規格。
 ※5 米国 NewTek 社が開発した、IP ネットワークによるライブビデオ制作のワークフローを支援する通信規格。
 ※6 Power over Ethernet。LAN ケーブルを通して電力を供給する技術のこと。「PoE++」は消費電力の大きい機器に対応。

<主な特長>

1. 業務用ビデオカメラ同様のキーデバイス搭載による高画質な映像撮影

- ・1/2.3型 CMOS センサー、映像処理プラットフォーム「DIGIC DV6」など、業務用ビデオカメラで培った映像処理技術などを生かしたキーデバイスを搭載し、4K/30P/4:2:2/10bit の高画質な映像撮影が可能。
- ・焦点距離約 29.3mm-601mm 相当の光学 20 倍ズームレンズを搭載し、広角から超望遠まで幅広いシーンでの撮影が可能。



等倍撮影時



光学 10 倍ズーム撮影時

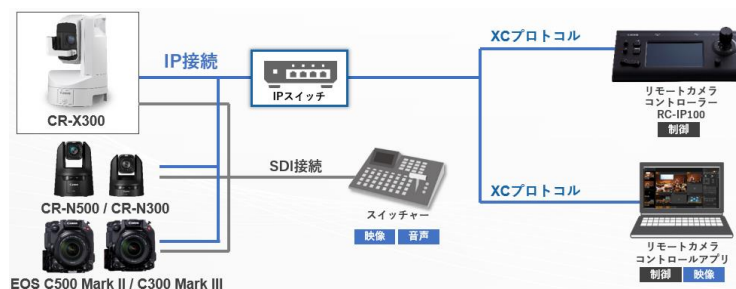


光学 20 倍ズーム撮影時

- ・4K のデータから高画質なフル HD 動画を生成可能な「Over Sampling HD Processing」に対応。
- ・上下左右/縦回転/水平回転補正の 4 軸の手ブレ補正をする「スタンダード IS」に加え、より補正効果の強力な「パワード IS」を搭載。望遠撮影時などの大きなブレの補正に好適。
- ・コントラスト AF と位相差 AF を組み合わせた「ハイブリッド AF」を搭載。高速で高精度な AF を実現。
- ・事前に好みの色合いや明るさを設定可能な「カスタムピクチャー」に、業務用ビデオカメラと同じ画質設定を採用。複数のカメラでの撮影時に、映像が切り替わっても統一した色合いや明るさを再現。
- ・照明やフィルターを使わず赤外線撮影可能な「インフラレッドモード」を搭載。赤外線撮影時も画面周辺部の光量低下を抑え、明るい映像を得ることが可能。
- ・さまざまな明るさの変化に対応し、自動で切り替えを行う電動 ND フィルターを搭載。
- ・ブラックバランス調整時に絞りを閉じ、光を通さない状態を作る「アイリスクローズ」に対応。通常のカメラでの撮影時に必要なレンズキャップの取り付け、取り外しが不要で、リモート撮影に好適。

2. 柔軟なシステム構築を実現する多様な通信規格への対応

- ・キヤノンの映像制作機器を IP 制御する「XC プロトコル」に対応。機器と機器を 1 対 1 で接続するシリアル接続に対し、複数のカメラをリモートコントローラー「RC-IP100」（2021 年 5 月発売）や PC 上の「リモートカメラコントロールアプリ」（2021 年 5 月公開）で IP 制御でき*、ワークフローの効率化/省人化に貢献。また、CINEMA EOS SYSTEM のカメラや屋内向けリモートカメラ「CR-N500/CR-N300」といった「XC プロトコル」対応の複数機種を組み合わせることで、屋外/屋内の幅広いシーンにおいて、統一した画作り、操作性のもとで映像制作が可能。



「XC プロトコル」によるシステム構築イメージ

- ・映像/音声のストリーミング配信が可能な「RTMP」に対応。
- ・ライブ映像制作を支援する「NDI|HX」に対応。スイッチャーやメディアサーバーなどネットワーク上の NDI 対応機器と接続ができ、効率的なライブビデオ制作をサポート。

※ 「RC-IP100」は最大 100 台、「リモートカメラコントロールアプリ」（無償）は最大 9 台まで制御可能。
なお、電動ワイパーの制御など一部操作については、今後公開予定のファームアップの適用が必要。

3. 屋外撮影に対応する耐環境性能と設置負荷を軽減する本体仕様

- ・国際電気標準会議が定める水や異物侵入の保護等級「IP65」準拠の防じん・防滴性能を達成。粉じんの侵入を完全に防護する「防じん性能6級」、あらゆる方向からの噴流水でも有害な影響を及ぼさない「防滴性能5級」に相当。
- ・電動ワイパーを装備。雨天時も良好な視界を実現。
- ・腐食に強いアルミダイキャストを採用。経年劣化の影響が少なく、ハウジングケースなどを用意することなく、屋外に設置可能。
- ・LAN ケーブル 1 本で電源供給とカメラ制御が可能な Ethernet 規格「PoE++」に対応。設置時の省線化やコスト低減に貢献。
- ・片手でも持ち運びが容易な大型ハンドルを装備。
- ・天吊りにも対応し、天井取付けが可能。天吊り撮影時は、「映像反転機能」を使用することで、天地を修正する後処理が不要。
- ・大きさは約 217（幅）×217（奥行き）×311（高さ）mm、質量約 7kg の小型軽量設計。



ワイパー稼働時（左）・格納時



大型ハンドルを装備

4. 映像制作をサポートする充実の PTZ 機能

- ・低速約 0.3°/秒から最速約 60°/秒まで多段階の旋回速度を選択可能な PT 駆動機構を搭載。
- ・PT 駆動と同時にズーム駆動を連動させることが可能な「同期 PTZ」を搭載。ワンマンオペレーションなど多様な映像制作をサポート。
- ・任意で選択した 1 地点の撮影位置と画角を登録する「プリセット」を搭載。カメラの方向に関わらず、「プリセット」で登録した位置・画角へ指定した時間/速度でパン、チルト、ズーム移動が可能。最大 100 地点まで事前登録ができ、映像制作ワークフローを高速・効率化。

<リモートカメラの市場動向>

タブレットやスマートフォンなどのデバイスの普及により、多くの人がいつでも手軽に映像を視聴できる環境を手に入れています。これに伴い、近年、映像コンテンツの需要が急速に拡大し、録画映像・ライブ映像を問わず、多くの映像コンテンツが制作・配信されています。さらに、新型コロナウイルス感染症の影響でリモートによる映像制作やオンラインによる映像配信が加速しており、例えば教育分野における授業映像の配信、ビジネス分野におけるセミナー映像の配信などがさまざまな現場で普及しています。また、放送分野では、放送局・プロダクションがリモートカメラを用いた番組制作環境を構築しつつあります。このように、映像制作現場ではリモートによる低コスト化・省人化を実現する製品やソリューションに対するニーズが高まっています。（キヤノン調べ）

<主な製品仕様>

製品仕様の詳細は、ホームページをご参照ください。

* NDI は、NewTek, Inc.の米国およびその他の国における商標または登録商標です。